

令和4年度 第1回 野洲市都市経営審議会 会議次第

日時：令和4年8月18日(木)午後2時00分～

場所：野洲市役所本館2階庁議室

1. 開会

- ・副市長あいさつ

2. 議事案件

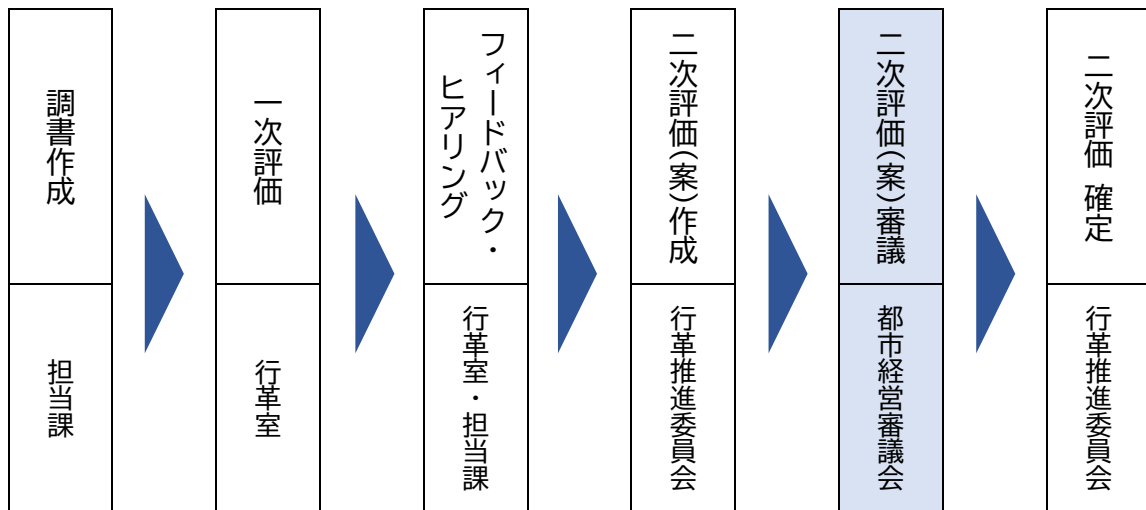
- ・事務事業評価について …資料1
- ・補助金等適正化に係る評価について …資料2

3 その他

4 閉会

事務事業評価と補助金等適正化の二次評価案について

令和4年度（令和3年度実績）の事務事業評価と補助金等適正化について、下記のとおり庁内で評価を進めてきました。この度、二次評価(案)について別添のとおりとりまとめましたので、当審議会では外部委員としての視点からご意見を賜りたいと考えております。



1. 事務事業評価の結果

一般会計における予算科目上の全 353 事業から、経常的経費、義務的経費、一時的事業のほか、原課から提出された理由書により対象外とすることが妥当と判断した事業を除いた、政策的経費を含む 98 事業について評価を行いました。

一次評価は必要性、有効性、効率性の3つの項目で、a：良好、b：一部課題・指摘事項あり、c：不十分として評価しています。

この一次評価の内容を基に、二次評価案をまとめています。

A	継続	58 事業
B	改善	43 事業
C	廃止	0 事業

※対象事業数と評価結果の事業数の差は、1つの予算事業に対して、小事業ごとに評価シートを作成された事業があるためです。

【参考】これまでの経緯と今年度の評価の狙い

事務事業評価は令和2年度から開始して今年で3年目になります。

1年目は試行として、各所属が選定した事業について小事業単位で評価を行いました。2年目には課題がある事業を事務局で抽出して評価を行い、改善や見直しに繋げてきました。

今年は過去2年の結果を踏まえ、評価の結果を次年度の予算（事業）へ確実に反映させる仕組みとするため、既存の「予算執行実績報告書」と連動させる形の評価シートに改め、評価の単位を予算上の事業単位（大事業）に変更しました。

これにより、各所属が同じような資料を作成する手間を省いて効率化を図るとともに、予算要求の査定時に活用することを目指しています。

2. 補助金等適正化の結果

令和4年度予算において「負担金補助及び交付金」として計上されている事業のうち、義務的なものや裁量の余地がないもの、過去に適正化の対象としたものを除いた52事業について、補助要綱や実績報告等の書類確認を行いました。この確認の結果により、評価になじまないと判断したものを除外し、残った27事業について評価を行いました。

継続	15 事業
改善	11 事業
廃止	1 事業

【参考】これまでの経緯と今年度の評価の狙い

補助金の適正化も令和2年度から開始して今年で3年目になります。

1年目は金額の大きいもの（300万円以上）を対象に評価を行いました。2年目は課題がある事業を事務局で抽出して評価を行い、改善や見直しに繋げてきました。

今年は過去2年の結果を踏まえ、これまでに評価できていない事業について対象としました。

事務事業評価と同様に、評価の結果を次年度の予算（事業）へ確実に反映させるため、財政課と連携して評価結果や指摘事項を予算査定に活用する仕組みとしています。